

赤多丸通信

[HP:<http://www.oyama-hotaru.com/>]

No.131-1 2014.12.18

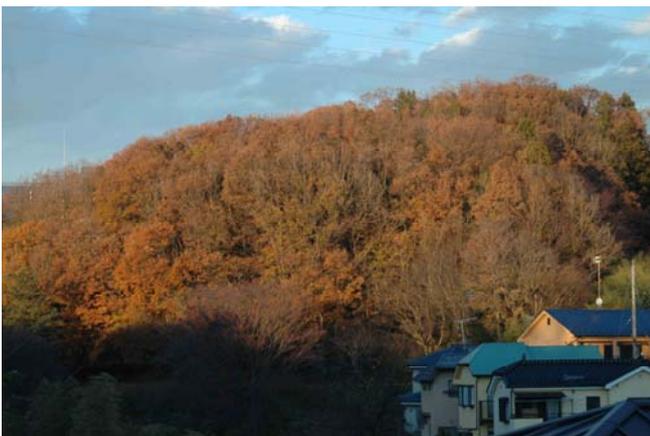
小山のホタルと自然
を守る会 事務局
(042-797-1851)



東の山 色とりどりの個性豊かな紅葉



赤道（あかみち）への足の踏んだもない落葉



東の山、山一面の紅葉

このような紅葉に出会ったことがありますか！私たちは小鳥や昆虫達と一緒に楽しんでいます。何時まで、こんな紅葉に出会えるでしょうかね！

こんな紅葉の中
小山小学校の4年生は、
自然探険にやって来ました。
12月1日です。

初めは質問から始まりました。



「どうして片所谷戸を大切にしているのですか。」
「片所谷戸の珍しい虫は何ですか。」
「オオモンクロベッコウは小山のどのようなところにいるのですか。」
「片所谷戸にはどのような鳥がいますか。」等
と言う質問がありましたが、全てには答えられません。
時間がたってしまいます。目と体で体験してもらおうと、話はそこそこにして、谷戸を歩いてもらうことにしました。



こんな自然をいつまでも残したい！
子ども達のためにも！

〈市政懇談会へ向けて〉

〈ホテル通信 131-2〉

市政懇談会へ向けて、皆さんから要望及び質問等を寄せていただき、取りまとめ、以下のような質問要望事項が出来上がりました。これを提出し、2015年1月31日、会場は小山市民センターの市政懇談会に望みたいと思います。

市政懇談会（2014年度）質問要望事項

小山のホテルと自然を守る会

小山片所谷戸の緑地保全予定区域に関する、その後の進捗状況について、また、今後実現までの課題や計画について、ご所見をお伺いします。

また、豊かな生物多様性の自然環境を維持して行くために幾多の課題があると思います。現段階において、考えられる課題を記述してみたいと思います。

1. 隣接する宅地開発に関する課題

1) 3ha に及ぶ雑木林が伐採されるために湧水が途絶える影響が懸念されます。湧水の確保は、谷戸の自然環境維持の生命線であるといっても過言ではありません。その手立てについての推進について、ご所見をお伺いします。

又、雨水について、街区公園西側の暗渠になる部分の給排水処理能力に課題がないかどうか、ご所見をお聞かせください。

2) 街区公園の北側は7ないし8mの高低差になると思われませんが、強度上頑丈な擁壁で立ち上がることが想像されます。川底には微生物が繁殖し、食の連鎖による多くの生命が維持されています。この自然環境を持続可能な状態になるような施行を希望します。

ご所見をお聞かせください。

3) 東側の赤道の近くにある象徴的ホシザクとヤマザクラの移植又は区画整理の計画変更に関する件について前回まで保留になっていましたが前向きな検討が期待されています。

ご所見をお伺いします。

2. 絶滅危惧種や希少な生物に関する条例の制定についての要望

1) 滅び行く貴重なホシザクラをはじめ、ヤブザクラ、ホトケドジョウ等の絶滅危惧種の採取と、その生息地を破壊する行為に関する規制について

2) ゲンジボタルがこの土地に昔からDNAが受け継がれ、遺伝子の攪乱もなく当地特有の存在で、毎年乱舞する光景が見られます。生物多様性の環境が維持されている証でもあります。将来に向けて、増殖のために、他の地域からの移入や人口飼育、更には乱獲などの規制について

1)・2) 項に関する条例の制定を提案したいと思います。

ご所見をお聞かせください。

3. 小山片所谷戸の緑地保全予定区域内に『土砂災害警戒区域等』の指定が予定されています。『土砂災害警戒区域』及び『土砂災害特別警戒区域』に対する防災安全対策について

ご所見をお聞かせください。

4. その他

以上